

2019年5月5日(日)朝10:10～

主の復活第3、役員会等

5月第1聖餐総員公同主日礼拝式説教

日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**断食するとき；**

隠れたところを主は見る

聖書：マタイ 6章16～18節

＜口語訳＞

新約聖書8～ 頁

マタイ 6章16～18節

＜新共同訳＞

新約聖書10～ 頁

マタイ 6章16～18節

＜新改訳第3版＞

新約聖書10～ 頁

マタイ 6章16～18節＜塚本訳＞

新約聖書81～82頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓あるいは説教と表現される箇所です。

◇本日は、**マタイ6章16～18節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見ます。

⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)、特に、「**断食**」は、自分の罪を悲しむしるし、神に帰る悔い改めの表現なのです。

⇒贖罪日(7月10日)は、「**断食**」の日でしたが、外を着飾り、敬虔な人からは疑問視された。

本論；

◇本日、**マタイ書6章16～18節**から主の**使信**に **思い・心**をとめます。

◆**マタイ6章16～18節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**の「**断食**」の**真の意味**を語られます。

◇**16～18節**；塚本訳◆断食について

「16 また断食をしている時には、偽善者のように陰気な顔つきをしてはならない。彼らは断食をしていることを人に見せようとして、(顔を洗わず、髭をそらず、わざと)顔を見苦しくするのである。アーメン、わたしは言う、彼らは(褒められた時、)すでに褒美をもらっている。

17 あなたが断食をするときは、頭に油をぬり、顔を洗いなさい。

18 これは断食をしていることを人に見せず、隠れた所においてになるあなたの父上に、見ていただくためである。そうすれば、**隠れたこと**を見ておられるあなたの父上は、**褒美**をくださるであろう。」と、**使徒マタイ**は語っています。

◇**16～18節**；「断食をしている時には、偽善者のように陰気な顔つきをしてはならない」、「彼ら

は断食をしていることを人に見せようとして、(顔を洗わず、髭をそらず、わざと)顔を見苦しくするのである」、わたしは言う、「彼らは(褒められた時、)すでに褒美をもらっている」、あなたが断食をするときは、「頭に油をぬり、顔を洗いなさい」、これは、「断食をしていることを人に見せず、隠れた所においてになるあなたの父上に、見ていただくためである」、そうすれば、「隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美をくださるであろう」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、彼ら(律法学者やパリサイ人たちの)**「断食」**が、「断食をしている時には、偽善者のように陰気な顔つきをしてはならない、彼らは断食をしていることを人に見せようとして、(顔を洗わず、髭をそらず、わざと)顔を見苦しくするのである」と、その姿の中に**「偽善」**を見抜いて、「わたしは言う、彼らは(褒められた時、)すでに褒美をもらっている、あなたが断食をするときは、頭に油をぬり、顔を洗いなさい」と、警告されたのです。

⇒**OA師**は、「強烈な風刺」を「**御子イエス・キリスト様**」がなさったと見ておられます。

⇒**OA師**は、「なるほど、罪を悲しんで深刻な顔で断食を守っているように見える。本来の精神が生かされているのだろうか。だがわたしの見た限り、これは芝居の役者がやる演技と同じものだ。しかし芝居の断食ならそれなりに、化粧もし、髪をととのえ、おめかししてくれるのでさまになろう」と、「この時代、すでに断食の本来の精神は失われて、『これだけ真剣な苦行をしているのだ』という、人を感動させる目的の**宗教的見世物が幅を利かせていた**のです」と仰せです。

⇒**OA師**はさらに、「人の目にはつかないが、神の目にだけとまる**隠れた断食**、それだけが意味を持つ」、「本当は、もう断食ごっこは不要になった。父が見ておられる断食があるとなれば、それは**罪を悲しんで神に帰る**、心の中の**真実の悔い改め**しかない。それだけが本当の**断食**。人目に触れない『**隠れた**』断食といえる。だが実際のことを言うと、それすらも、もはや大仰な深刻な顔ですることができなくなる。**わたしがその人の罪を清めて、そのまま父の家へ連れて行くからだ**」とも、仰せです。

⇒「隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美(報いて)をくださる」と、「神に喜んでいただく、隠れたことを見ておられる父に心の焦点を絞る、天の父に報いていただく。そこにだけ、動かぬ確かなもの、人生のただ一つの意味、永遠に変わらぬ意味がある。そのことを謙遜に知るのです」。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓、説教と表現される箇所です。
- ◇本日は、**マタイ6章16～18節**も、**マタイ5章**の続きで、**神の御子イエス・キリスト様**を祝福のことば全体の中で理解したいとの思いで、「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)のユダヤ人の3大善行)を見ます。
 - ⇒「**神の幸い・祝福**」、「**迫害の中の神信仰**」に続く「**天の父の心の目**」に「**神の御子イエス・キリスト様**」は、注目しておられるのです。
 - ⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「**偽善**」を見抜いておられます。「**施し**」(6:1～4)、「**祈り**」(5～6)、「**断食**」(16～18)、特に、「**断食**」は、自分の罪を悲しむしるし、神に帰る悔い改めの表現なのです。
 - ⇒贖罪日(7月10日)は、「**断食**」の日でしたが、外を着飾り、敬虔な人からは疑問視された。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、ユダヤ人の善行の背後にある「偽善」を見抜いておられます。「**断食**」(16～18)も、「**隠れた所におられる主**」が大事なことです。

⇒「**断食**」は、**御子イエス・キリスト様**の前で、「**偽善・演技**」をして、「断食をしている時には、偽善者のように陰気な顔つきをしてはならない」、「彼らは断食をしていることを人に見せようとして、(顔を洗わず、髭をそらず、わざと)顔を見苦しくするのである」(16)と言われ、「あなたが断食をするときは、頭に油をぬり、顔を洗いなさい」、「これは断食をしていることを人に見せず、隠れた所においでになるあなたの父上に、見ていただくためである」と、真実の**断食**を求め、「そうすれば、隠れたことを見ておられるあなたの父上は、褒美(報いて)をくださる」と、**御子イエス・キリスト様**は指摘して下さったのです。

⇒3月10日～24日の「**施し**」、「**祈り**」同様、焦点を絞って、人の目色を見ず、神を相手の人生を生きよ、とういことで、「**断食**」も、「**隠れた所の主**」に思いを向けてほしいということです。